

**目的**

ニホンジカによる植生被害を防ぎ、生物の多様性の確保及び自然公園の景観の維持を図る。

効果的な防護方法の実証を行い、今後の総合的な対策の基礎とする。

**事業内容**

防護対策（防護柵の設置と管理）

シカの行動追跡（シカへの発信器の装着と追跡）

防護効果の検証（植生の被害状況調査、シカの出現状況調査）

**現状**

シカの個体数の増加と生息域の拡大

植生被害

農林業被害

【林務部・農政部】  
個体数調整（生息密度の抑制）  
農林業被害対策

【林野庁】（平成18・19年度）被害状況調査

南アルプスにおける高山植物の食害  
〔国立公園〕

【環境省】（平成19年度～）防護柵の設置  
（平成20年度概算決定）  
「国立公園における大型獣との共生推進事業」

中信高原におけるニッコウキスゲの食害

【環境保全研究所】（平成19年度～）  
霧ヶ峰における植生影響調査

**事業内容**

**平成20年度事業**

防護対策(電気柵の設置・管理)

シカの行動追跡

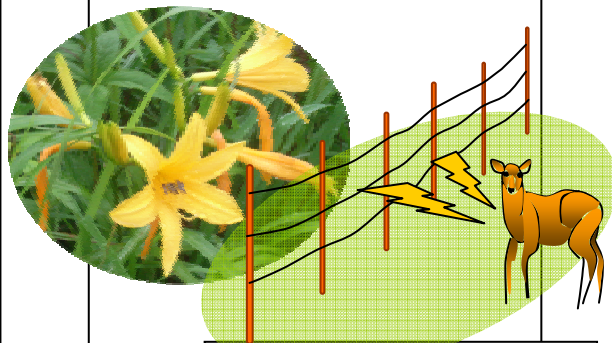
- ・ 機材購入
- ・ シカ捕獲・発信器装着作業
- ・ 追跡

防護効果の検証

- 【環境保全研究所】
- ・ 植生被害状況調査
  - ・ シカ出現状況調査

**平成21年度以降**

防護対策  
シカの行動追跡  
防護効果の検証



ボランティアの協力  
霧ヶ峰自然環境保全協議会  
（平成19年11月16日発足）

生物の多様性の確保、自然公園の景観の維持

事業費(概算) 10,214千円（一般財源：5,727千円、国費：4,487千円）